



PROJECT

子どもと大人の 学びの過程の多様化 に挑む

みんなに再チャレンジの機会を

パキスタンは義務教育年齢(5~16歳)で学校に通ってない子どもが世界で2番目に多く、15歳以上の識字率が58%と世界で最も低いグループに属します。学校が家から遠かったり、子どもが生計の支え手だったり、子どもが学校に通えなくなる原因はさまざまです。JICAは「いつでも、どこでも、だれでも、いくつになっても」をキーワードに、さまざまな理由で学ぶ機会を逸した子ども、若者、大人へ基礎教育や識字教育を提供するプロジェクトを実施しています。

共に政府が提供する正規の学校であることに違いはありませんが、通常の学校教育とは異なるこれらの教育は「ノンフォーマル教育」あるいは「オルタナティブ

教育」と呼ばれています。JICAは2004年からパキスタンでこの「ノンフォーマル教育」の促進に協力してきました。

卒業資格がもたらす自信と未来

2004年に協力を開始したときはパンジャブ州のみで活動していましたが、現在はすべての州でプロジェクトを展開しています。JICAは学齢期を過ぎてしまった人向けの速習型学習プログラム(ALP: Accelerated Learning Program)を基に初等教育の学習パッケージを開発し、いくつかの州では、このプログラムを修了して試験に合格すれば、小学校の卒業資格を得られるようになりました。

現在展開中の「オルタナティブ教育推進プロジェクトフェーズ2」では、ALPの中学校版を作成しています。小学校だけでなく中学校の卒業資格が得られれば、本人の大きな自信につながることはもちろん、就職や上級学校への進学にも役立ちます。また成人向けの識字教育では、これまで基礎識字、ライフスキル、収入向上の3要素を含んだカリキュラムを作成しました。すでにいくつかの州で承認されていますが、これを全国に広げたいけるよう、パキスタンの連邦政府および各州政府に協力しています。



パキスタン：パンジャブ州の遠隔地の村で地元住民の家の一室を使ったノンフォーマル教育学校に通う女の子たち [写真：田中博崇]

DATA

オルタナティブ教育推進
プロジェクトフェーズ2

対象国
パキスタン

協力期間
2021年2月-2025年1月

VOICE

数えたり読んだりできるようになりました

パンジャブ州スバ・エ・ナウ小学校(ALPコース)
リキシャ電子工 ハスナン・アリさん(12歳)



一度も学校に行ったことがなくても大丈夫と聞き、ALPへの入学は自分で決めました。朝7時すぎから2時間勉強して10時から仕事と、両立できる点がいいと思います。ALPで友達と遊べることと、仕事場で正確にお金を数えたり品物のラベルが読めるようになったりしたことがうれしいです。将来は国の役に立つ人になりたいです。